



やすらぎ

yasuragi

Vol.21

平成23年

[目次]

P1…クローズアップ[耳鼻咽喉科]

P2…内科[関節リウマチの診断と内科治療についての最新の知見]

P3…「褥瘡(じょくそう)ゼロを目指して」

P4…「栄養課便り」、「登録医名簿」

耳鼻咽喉科

部長 出島 健司

診療科
クローズアップ

「耳鼻咽喉科とは」

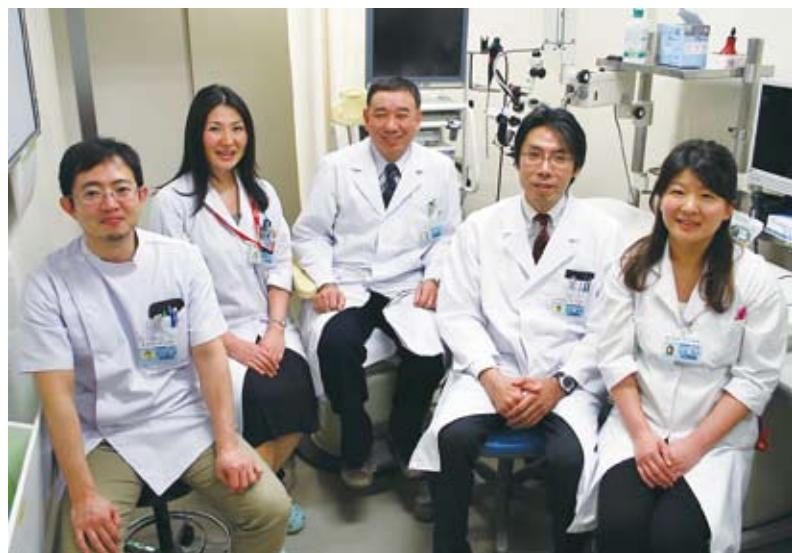
耳鼻咽喉科は、耳と鼻とのどと比較的狭い領域を担当する診療科と考えられていますが、実際は首から上で神経内科や脳神経外科が担当する脳と脊髄、眼科が担当する眼球を除く頭部および頸部の広範囲にわたる領域を担当しています。また、領域の広さだけではなく、風邪や花粉症、鼻出血、中耳炎、めまいなど、どなたでも一度は経験したことのあるような疾患の診療(プライマリケア)から、聴力改善手術



出島部長

や頭頸部の癌治療などの専門性の高い診療まで大変幅広い診療内容を特徴としています。このような診療内容から、最近では耳鼻咽喉科・頭頸部外科と呼ばれるようになっています。

耳鼻咽喉科のもう一つの特徴は、生活の質(quality of life)に直接影響する機能を担当していることです。豊かな生活のために感覚器と運動器の機能、咀嚼・嚥下と音声・言語機能が不可欠です。耳鼻咽喉科では5感と呼ばれる感覚機能のうち、聴く(聴覚)



右より…上田医師、内田副部長、出島部長、牛嶋副部長、豊田医師。

「当院耳鼻咽喉科の特徴」

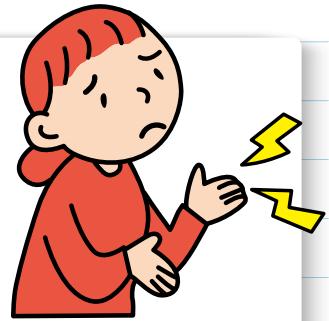
匂いを嗅ぐ(嗅覚)、味わう(味覚)の3感と、自分の足で歩くためのバランス感覚(平衡覚)を担当し、また美味しいものを噛んで飲み込む嚥下機能と家族や仲間と会話を楽しむための音声・言語機能も診療範囲としています。

の手技と治療成績を誇ります。花粉症や蓄膿で、鼻づまりやにおいがわからないといった症状に対し治癒に導くべく日々努力しています。その他、聽力を改善する中耳手術、甲状腺や口腔をを中心に日本のトップレベル

から咽喉頭および頸部の癌疾患、声がれを直す喉頭微細手術から、扁桃摘出までいざれも多数の経験を誇るスタッフが治療を担当し、安心して患者さんが医療を受けることができる体制を整えております。y

関節リウマチの診断と 内科治療についての最新の知見

内科 / 井上 衛 (検査部副部長)



平 成19年4月から当院内科に着任、リウマチ膠原病の専門外来を担当している井上です。昨年、リウマチの新しい診断基準が海外で発表され、また、9月には本邦5剤目となる注射薬；オレンシアも発売されました。更に、平成11年に発売されて以来最も重要な内服薬であるメトトレキサート:MTX(商品名:リウマトレックス等)が、今回(本年2月)、增量(16mg/週まで)及び第一選択薬として認可されます。

以上の最新の知見を当科のリウマチ診療の方針も交えて概説致します。

まず、診断ですが、我々は未治療の患者さんは特に早期診断を心掛けています。欧米の学会が合同に策定した新分類基準(診断基準)が発表されました(関節病変が1つでも診断可能)、現時点では従来のアメリカリウマチ学会の基準(1時間以上持続する朝のこわばり・手～第二指関節の関節腫脹・左右対称性・3関節以上の罹患、少なくとも6週間以上持続等)を最も重視し、血液検査(リウマチ因子や抗CCP抗体等)、レントゲン検査、及びMRI検査も参考にします。今後、超音波検査の利用も考えています。また、他の疾患、特にウィルス感染症や高齢者の方では悪性腫瘍の合併も考慮、他の膠原病についても慎重に鑑別しています。

治療は、抗炎症～鎮痛薬及び抗リウマチ薬による内服療法を開始します。副腎皮質ステロイド薬も、最近は特別な場合を除き基本的には処方しません(感染症、骨粗鬆症等に注意が必要です)。疾患活動性に依りますが抗リウマチ薬としてはMTXを第一選択とします。今回、增量が正式に認



井上副部長

められたことは患者さんにとっては朗報です。他にアザルフィジン、リマチル、プログラフ等や、数種類の薬を併用することもあります。副作用等に留意して慎重に選択します。

内服薬で病勢がコントロール困難な場合(少なくとも3ヶ月以上経過)、次に注射薬の併用を検討します。現在、日本ではレミケード、エンブレル、ヒュミラ、アクテムラ、そしてオレンシアの5剤が使用可能で、効果については基本的には同等と考えられています。やはり、内服薬と同様、個人差がありますので、副作用出現の可能性、年齢、社会性(ライフスタイル)、医療費も含めて患者さんとよく相談した上で薬を決定しています。

以上、リウマチの活動性の評価とそれに基づいた適正な「個々の患者さんの目標達成に向けた治療」を心掛け、患者さんに対して親身になって診療を行うことをモットーにしていますので、お気軽に御相談下さい。y



褥瘡発生ゼロへ。

上の写真/
右より、曾我医師（皮膚科）、土佐事務員、上田薬剤師、泉副部長、長谷川看護師、井上医師（皮膚科）、山口管理栄養士

下の写真/
回診中の右から、日野看護師と長谷川看護師。



褥瘡(じょくそう) ゼロを目指して

褥瘡対策部会 泉 浩（外科副部長）

皆さんには床ずれを ご存じですか？

床ずれは長期の臥床時あるいは全身麻酔で動けない時とかに、骨突出部にできる皮膚および皮下組織の損傷で、医学用語で褥瘡と言います。原因は骨突出部とマット等との間での皮下組織の圧迫・ずれにより組織の血液循環が悪くなることです。皮膚の発赤～骨まで達する深い潰瘍まで様々で、場所も仙骨部・大転子部・踵部・脊椎部・後頭部とかに容易に発生します。

本来医療機関では褥瘡の発生を防ぐ義務があり、院内での褥瘡発生ゼロを当然としなくてはいけません。本院の褥瘡チームは平成14年6月に発足し、欠かすことなく毎週水曜日の褥瘡回診で病院の全ての褥瘡を監視・治療

- ▲ してきました。当初から8年間は
- ▲ 現在外来係長の田中豊子（ETナース）が「褥瘡発生させまい」の原
- ▲ 動力となり、今年度からは長谷川
- ▲ 美波と日野紀子（共にWOCナース）がその精神をしっかりと引き
- ▲ 繼いでいます。他は医師・薬剤師・
- ▲ 栄養士・事務員が褥瘡チームの
- ▲ メンバーで、職種横断的構成とな
- ▲ っています。
- ▲ 褥瘡は一旦発生してしまうと
- ▲ 治癒まで時間がかかり、予防が第
- ▲ 一です。われわれの病院に入院さ
- ▲ れる患者さんは全員が褥瘡発生
- ▲ の危険性をスクリーニングされ
- ▲ ます。危険ありと判断された方は
- ▲ WOCナースが継続的に監視し、
- ▲ 場合により除圧マットレスが適
- ▲ 用されます。
- ▲ この除圧マットレスなくして
- ▲ 褥瘡との戦い（予防・治療）はあ
- ▲ りえません。当初は病院には機能
- ▲ の低いマットレスが20台ほどしかありませんでしたが、病院の理解を得て徐々に購入し、今は中機能以上のマットレスが120台以上稼働しています。今年度からは一部の病棟で、より適したマットレスを使用するためにレンタルマットレスの運用が開始されました。
- ▲ その成果が徐々に現れ、深い褥瘡が発生することは見られなくなり、年間褥瘡発生率は1.8%を切りそうです。
- ▲ しかし、マットレスの保守管理と運用方法、教育の充実と継続、褥瘡対策として病床200に一人が必要と言われるWOCナースの適切な配置など、問題はいくつもあります。一つ一つの問題を解決した先に褥瘡発生ゼロが見えてくるものと確信しています。⑨

献立レシピ (1人分)

献立	材料名	分量 (g)	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)
巻き寿司	米飯 砂糖 酢 塩 干瓢 干し椎茸 みつば 厚焼卵 蒲鉾 浅草のり 江戸生姜	200 20 22 0.7 5 2 5 30 25 一枚 少量	638	16.8
小芋味噌煮	小芋 豚肉モモ 生姜 味噌 砂糖 だし汁	80 15 3 10 6 70	121	5.3
清汁	真如 花麩 みつば 醤油 塩 だし汁	10 2ヶ 2 3 0.3 120	18	1.7
おはぎ		50	103	2.0
合計			880	25.8

(左)右
管理栄養士
増田
勝彦
(右)
山口
真紀子



当院では、春分の日の献立として巻き寿司とおはぎを提供しています。おはぎは、具材を焼き、巻き寿司は、具材を炊き、のりで巻くまですべて調理師が行います。入院患者様に手作りを喜んでいただけたらと思っています。y

季節の行事献立を紹介します。

山口
真紀子
管理栄養士

栄養課便り



料理のポイント

巻き寿司

- ◎すし飯の量が多くならないようにする。
(茶碗約1杯程度)。
- ◎すし飯は均一に平らに広げる。広げすぎるとのりがはじける原因になるので注意する。
- ◎巻くときは、巻きすごと具の向こう側まで一気に巻く。
- ◎最後に、上から軽く押さえる。

◎登録医名簿

(平成 23 年 2 月 28 日現在)

* 平成 22 年 11 月 1 日～平成 23 年 2 月 28 日に、当院の登録医になっていただいた先生方です。

	医療機関名	登録医名	住所	往診	診療科
北 区	隣医院	隣 義信	北・上賀茂中大路町 12-1	○	内・アレ
左京区	聖光園細野診療所	細野 義郎	左・鹿ヶ谷上宮ノ前町 54		漢方
右京区	くまのクリニック	松田 捷彦	左・聖護院河原町 33-3	○	内・外・循・呼内・リハ
中京区	小島医院	小島 晃	右・嵯峨広沢御所ノ内町 37-5	○	内・小
	にじじま眼科	西嶋 一晃	中・瓦之町 391 京都メディカルガーデンシンフォニア御池 5F		眼
	鳥居内科	鳥居 幸生	中・瓦之町 391 京都メディカルガーデンシンフォニア御池 4F		内・循・糖尿病
	なかい耳鼻咽喉科	中井 茂	中・瓦之町 391 京都メディカルガーデンシンフォニア御池 4F		耳・児耳・アレ
	ワタナベ皮膚科	渡邊 真理	中・瓦之町 391 京都メディカルガーデンシンフォニア御池 4F		皮・美皮
	御池眼科池田クリニック	池田 陽子	中・下丸屋町河原町通二条下ルニ丁目下丸屋町 397 Y・J・Kビル 4F		眼科
下京区	あいこ皮フ科クリニック	柴 垣伊子	下・立売西町 76 四条高倉大西ビル 6F		皮膚・美容皮膚
南 区	小林診療所	小林 慎	南・八条町 456	○	内
山科区	さど耳鼻咽喉科クリニック	佐渡 文彦	山・四ノ宮垣ノ内町 1 SUNYOU1FA 号	○	耳・アレ



京都第二赤十字病院 やすらぎ

発行責任者：中島 正継

発行：京都第二赤十字病院

編集協力：有限会社エイブル